

抗議文

2014年11月4日

在本邦アメリカ合衆国大使館気付
アメリカ合衆国 大統領
バラク・オバマ 閣下

日本非核宣言自治体協議会副会長
大阪府 枚方市長 竹内 脩

貴国がニューメキシコ州サンディア国立研究所において、今年9～10月にZマシンを使用した核性能実験を実施したとの報道に接し、非常に強い憤りを感じています。

これまでも繰り返し述べたように、これらの行為は核廃絶に向けた世界の潮流に逆行することから、枚方市民を代表してあらためて強く抗議します。

私たちは、人類の生存を脅かす究極の兵器が核兵器であるとの認識に立ち、すべての核の廃絶を求め、その開発にかかるあらゆる実験に抗議するものです。

NPT再検討会議が「核兵器のない世界」の実現を決意し、行動を起こしている今日、貴国が繰り返し行う核性能実験等は、「広島、長崎」の怒りをさらに拡大させ、被爆国としての日本全体の怒りとなり、さらに世界の人々の核軍縮への期待と国際社会が求め続けている核廃絶の努力を踏みにじる行為であります。

よって、あらためて厳重に抗議するとともに、今後のあらゆる核実験の中止措置を行い、世界の大国として核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向けた主導的な役割を果たされるよう重ねて求めます。